

映画『ハッピーアワー』における演出と演技

文学研究科

言語文化学専攻 表現文化学専修

前期博士課程

M16LC008

やましろ ま ゆ こ
山城 真由子

目次

序論	1
第1章 映画演技の不可能性	
1-1 カメラと演技	5
1-2 ポストメディアウムの状況における物語映画と演技	7
第2章 脚本構築のプロセス	
2-1 「即興演技ワークショップ in Kobe」	12
2-2 脚本の成り立ちと濱口竜介の演技論	14
2-3 脚本の特徴	18
第3章 「本読み」	
3-1 「本読み」の方法	26
3-2 「本読み」の狙いとロベール・ブレッソンのスタイル	27
3-3 「本読み」の方法的矛盾と本質	31
第4章 映像表現上の特徴と演技	
4-1 非関与的なコンティニュイティ	36
4-2 カメラ目線のショット	41
4-3 時間	46
4-4 音	48
第5章 小津安二郎作品との比較考察	
5-1 小津的な要素について	51
5-2 非小津的な要素について	53
5-3 多様な方法 — 「本読み」以外の演技—	56
5-4 総合的考察	59
結論	61
参考文献一覧	64
図版	67